

# 令和3年度(第94回)全国安全週間

7月1日～7日(準備期間6月1日～30日)

スローガン

## 「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」

一般社団法人山梨県鉄構溶接協会

### 【趣旨】

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で94回目を迎えます。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少傾向にありますが、近年は増減を繰り返しながら推移しています。令和2年の山梨県内における労働災害による死者数は6人で前年に比べ3人の増加となり、休業4日以上死傷者数は745人で同56人の減少となりました。山梨労働局では「山梨第13次労働災害防止計画」において『2022年(令和4年)に、死傷者数689人以下、死者数5人以下』という目標を定めて取り組んでいますが、目標達成にはさらなる減少が求められるところです。

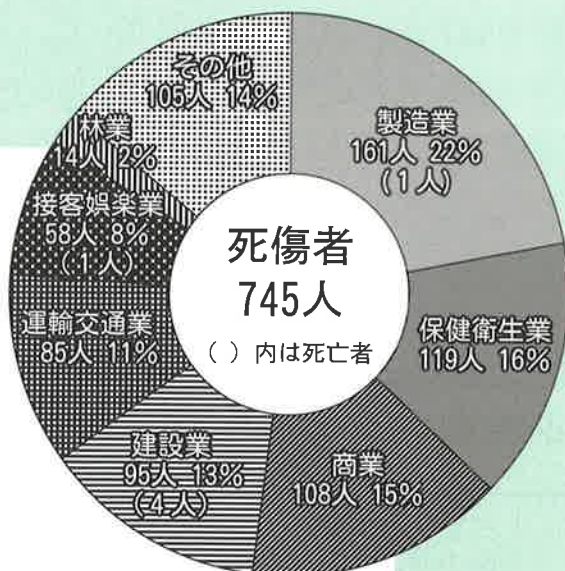
労働災害をさらに減少させるため、働く高齢者の増加等の就業構造の変化や新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う社会情勢の変化等に対応し、将来を見据えた持続可能な安全管理を継続して実施していく必要があります。

これにより、すべての働く方が安心して安全に働くことのできる職場の実現を目指すことを決意して、令和3年度全国安全週間は、上記のスローガンの下で取り組みます。

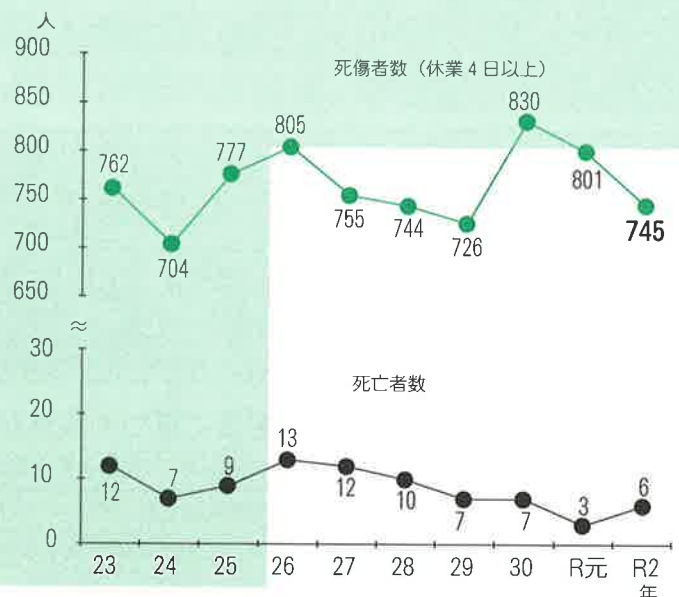
全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性について認識を深め、災害ゼロを目指した安全活動の着実な実行を図られるようお願いいたします。

### 【県内の労働災害発生状況】

業種別死傷者数(令和2年)



死傷者数・死亡者数の推移



〔主唱〕

山梨労働局、甲府・都留・躰沢労働基準監督署

〔協賛〕

(一社)山梨県労働基準協会連合会、各地区労働基準協会、建設業労働災害防止協会山梨県支部、陸上貨物運送事業労働災害防止協会山梨県支部、林業・木材製造業労働災害防止協会山梨県支部、(公社)ボイラ・クレーン安全協会甲信事務所、(一社)山梨県鉄構溶接協会、(公社)建設荷役車両安全技術協会山梨県支部、(一社)日本労働安全衛生コンサルタント会山梨支部

〔協力〕

山梨県、日本労働組合総連合会山梨県連合会、山梨県経営者協会

## ●本週間（7月1日～7日）及び準備期間中（6月1日～30日）に実施する事項●

- 1 安全大会等での経営トップによる安全への所信表明を通じた関係者の意思の統一及び安全意識の高揚を図る。
- 2 安全パトロールによる職場の総点検を実施する。
- 3 安全旗の掲揚、標語の掲示、講演会等の開催、安全関係資料の配布等のほか、ホームページ等を通じて自社の安全活動等を社会へ発信する。
- 4 労働者の家族への職場の安全に関する文書の送付、職場見学等の実施により家族の協力を呼びかける。
- 5 緊急時の措置について必要な訓練を行う。
- 6 「安全の日」の設定のほか本週間及び準備週間にふさわしい行事を行う。

- ◇ 実施にあたっては、マスク着用、手指消毒、いわゆる「3つの密」を避けるようにする等、新型コロナウイルス感染症に対する基本的な感染防止対策を徹底することはもとより、各自治体等の要請や業界団体が作成する「業種ごとの感染拡大予防ガイドライン」等に従ってください。
- ◇ 安全衛生活動は本週間終了後も継続的に取り組みましょう。

職場における新型コロナウイルス感染症への感染予防及び健康管理に関する参考資料一覧…… ⇒

業種ごとの感染拡大予防ガイドライン（内閣府ホームページ）…………… ⇒



## ●高齢労働者の労働災害防止に取り組みましょう！●

- ◇ 働く高齢者が増えています。60歳以上の雇用者数は過去10年間で1.5倍にも増えており、山梨県内における傾向（過去5年）を見ると、60歳以上の死傷者は24.8%と50歳代に次いで多く、死亡災害については、30.3%と最も多くなっています。
  - ◇ 厚生労働省では、令和2年3月に「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」（エイジフレンドリーガイドライン）を策定しました。各事業場におかれては、高齢労働者を含め働く人の労働災害防止を図るため、労使一丸となって職場環境改善や安全衛生教育等への自主的な取組を一層強化していただくようお願いします。
- 高齢労働者の安全衛生対策について（「エイジフレンドリーガイドライン」など）…………… ⇒  
（同ガイドライン内のチェックリストを活用して総点検を実施してみましょう）



## ●安全で安心な店舗・施設づくりを進めましょう！●

- ◇ 第三次産業における労働災害は増加傾向にあり、特に、社会福祉施設、小売業及び飲食店の発生件数は第三次産業全体の5割を占めています。転倒災害、腰痛災害等の行動災害が多い中、店舗・施設に安全衛生担当者がいないなど、安全衛生活動の取組が低調になっていませんか。厚生労働省では令和3年3月から「安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」を展開しています。同推進運動の趣旨を御理解の上、本社・本部と店舗・施設とが連携して全社的な安全衛生活動を進めましょう。

「安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」実施要綱…………… ⇒



## ●山梨第13次労働災害防止計画（2018年度～2022年度）●

～労働者の安全と健康確保を当然のこととして受け入れていく社会の実現を目指して～

計画の全体目標



- ① 死亡災害：2017年と比較して、2022年までに労働災害による死亡者数を15%以上減少させる。又は、山梨第12次防期間中と比較して山梨第13次防期間中の死亡者数の総数を30%以上減少させる。
- ② 死傷災害：2017年と比較して、2022年までに休業4日以上労働災害による死傷者数を5%以上減少させる。又は、山梨第12次防期間中と比較して山梨第13次防期間中の死傷者数の総数を10%以上減少させる。

重点施策



- ① 死亡災害の撲滅を目指した対策の推進
- ② 過労死等の防止等、労働者の健康確保対策の推進
- ③ 就業構造の変化及び働き方の多様化に対応した対策の推進
- ④ 化学物質等による健康障害の防止対策の推進
- ⑤ 事業場ごとの安全衛生管理組織及び企業・業界単位での安全衛生の取組の強化

## 《 労働安全衛生法に基づく免許試験 出張特別試験のお知らせ 》

関東安全衛生技術センターによる出張特別試験が令和3年8月29日(日)に「ベルクラシック甲府」で行われる予定です。

試験の種類	受験申請書の提出先（問い合わせ先）	電 話	提出期間等
二級ボイラー技士	(公社) ボイラ・クレーン安全協会甲信事務所 〒400-0212 南アルプス市下今諏訪610-9	055(287)9511	郵送のみ 郵送受付 6月21日(月)～ 6月30日(水)消印有効 ※本年度は窓口受付は行いませんので注意してください。 ※受験準備講習とは別ですから忘れずに手続きをしてください。
ガス溶接作業主任者	(一社) 山梨県鉄構溶接協会 〒400-0055 甲府市大津町317-2	055(241)2674	
第一種衛生管理者	(一社) 山梨県労働基準協会連合会 〒400-0024 甲府市北口2-15-1	055(251)6626	
第二種衛生管理者			
発破技士	建設業労働災害防止協会山梨県支部 〒400-0031 甲府市丸の内1-13-7 山梨県建設会館内	055(221)8810	

(注1) 提出期間内であっても、試験会場の収容人員の限度に達しますと受付を締め切ることがあります。

(注2) 新型コロナウイルス感染防止及び会場の都合により試験が中止になる場合があります。